



# 宗四小だより

6月号

児童数 464名

志木市立宗岡第四小学校

志木市上宗岡1-1-2

048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

令和元年6月1日発行

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

## 「言葉の栄養」

校長 豊島 典子

気温が高い日が続き、熱中症等が心配される中、25日(土)は、運動会の応援、ありがとうございました。家族や地域の方々の応援もあって、張り切って運動会に臨む子供たちの姿がたくさん見られました。

これから梅雨に入っていきますが、日本語で「雨」に関する言葉が、とても多く存在します。「五月雨」「時雨」「梅雨」「にわか雨」「霧雨」「こぬか雨」「氷雨」などなど。雨の降り方や季節感の違いを日本人は昔から巧みに表現してきました。「雨」に限ったことではありません。日本語には、色や感情をきめ細やかに表す言葉もたいへん豊かです。外国の文学を日本語に翻訳するのはとてもたやすく、逆に日本文学を外国語に翻訳するのは困難を極めるそうです。

しかし、最近はこの豊かな日本語を粗末にしている例をよく見かけます。「むかつく」「うざい」という一言で片づけようとしてしまいます。心境にあった言葉があるはずですが。

言葉が一つ増えることは、心のひだが一つ増えること、それだけ人間として寛容的に優しくなれることです。「言葉の栄養不足」により、自分の感情を的確に表現できず、もどかしさから、ついにはキレて手を出してしまうことがあります。このとき、冷静に感情を言葉に置き換えて表現できる子どもは、それだけ人間として豊かでありたくましいと言えます。また自分の気持ちや考えを相手に理解してもらいやすく、コミュニケーションが活発になります。言葉の栄養をたくさん蓄えてほしいです。

さて、懇談会でもお知らせしましたが、本年度は家庭訪問をいたします。家庭訪問では、ご家庭での様子等、話を聞けたらと思います。また、気になることがあるときには、いつでもお声かけください。

今年も学校応援団の市ノ瀬様、松下様をはじめ、PTAの役員の皆様にご協力いただき、5年生が、5月8日(水)にあぜぬり、14日(火)に田植えをしました。これから水の管理や草取り、害虫対策など、収穫まで教えていただきながら様々な体験を通し、米作りの大変さを実感していくことでしょう。

学校とご家庭、そして地域で子どもたちを育てていけたらと思います。よろしくお願いいたします。

